

別記様式第2号

会議の概要報告

会議の名称	佐野市子ども・子育て会議
1 開催日時	令和4年7月26日(火) 10時00分～11時30分
2 開催場所	佐野市勤労者会館
3 委員等の人数	19人
4 出席委員等の人数	13人
5 議題	・「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」における令和3年度の計画の達成状況の点検及び評価について 【資料1】
6 会議の公開・非公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開・非公開の理由
7 傍聴者の数	0人
8 会議資料の名称	<資料1> 令和3年度第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画の実績報告における点検・評価結果 <参考資料> 佐野市子ども・子育て会議条例及び規則及び子ども・子育て会議委員名簿 <参考資料> 本市の出生数の推移
9 会議の概要(発言の要旨)	①「第2期佐野市子ども・子育て支援事業計画」における令和3年度の計画の達成状況の点検及び評価について各課所管事業ごとに達成状況を評価した。 (意見) P3計画と実績(進捗状況)の差異は、確保方策として足りなかったため、評価がBとなっているが、実際の利用状況としては、コロナ禍の影響もあり、供給が上回ったという理解で良いか。(中山委員) (回答) 計画としては、ニーズに対しての確保量で評価することになるため、評価としてはBとなる。実際の利用状況としては、供給が上回ったという理解で良い(保育課)

(意見) P3 計画の実績、評価方法としては理解したが実際には余裕があると見て取れる。計画の評価とは別に、実際の利用状況から判断できる供給が上回っている状況を佐野市の子ども子育て会議では考えていきたい。実際に小規模の保育園では、利用者数が減少することで、予定より入園者数が減り、経営として成り立たなくなる恐れがあるという事業所も出てきている。担当課との話の中では、供給過剰への対応として、公立の園を中心に調整していくということは言われているが、現状はどのような状況か。

(中山委員)

(回答) 今年度、吉水・石塚保育園を民営化し、認定こども園の利用定員は昨年度と比較し減少している。また、令和5年度には赤坂保育園が民営化するとともに、ときわ保育園を閉園予定である。それに伴い、さらに利用定員は減少するなど、公立の園を中心に抑制を行っている。また、第2次保育所整備計画では、伊勢山保育園の閉園が予定されており、今後の状況を見ながら対応していく予定となっている。(保育課)

(意見) P3 今説明いただいたような内容を令和3年度の実績報告書に記載することはできないか。(中山委員)

(回答) これまでも対応してきているところではあるが、最終的には公立の園で調整するとしても、その年その年の需要により、受け皿の確保は行っていかなくてはならない。運営が難しくなってしまう事業所もあるとは思いますが、そこは、これまで同様、公立の保育園で調整していきたいと考えているが、実績報告書への記載は検討する。

(保育課)

(意見) P7 放課後児童健全育成事業の支援単位数の考え方について共有をしたい(小林委員長)

(回答) 支援単位は、1クラブあたり概ね40名の指針があることから、40名を超えた場合には、支援単位を分けるなどしている。例として佐野こどもクラブは条例上1クラブであるが、実際には中を2支援単位に分けていることから、実際のクラブ数と支援単位数には差異が出る。

(こども課)

(意見) P7 量の見込みと確保方策が減っているが、実際の利用状況がさらに少なくなっていることから、評価が A になっているという理解でいいか。

(回答) 計画上の数値に対する受け皿の確保量として評価している。実際には、公立のこどもクラブでは、学校区で入れるクラブは決まってくるが、今年度も学年の制限を行っているクラブはあるため、計画の中で整備しなくてはならないクラブは整備する。今足りているので、もう整備をしないということではない。(こども課)

(意見) P7 現在、学校教育と放課後児童クラブとの連携はどのようになっているか (小林委員長)

(回答) 直接的に連携しているということは現在ないが、学校も含めて、安全を第一に考えた連携は行っている。

(学校教育課)

(意見) 児童に関する情報共有はどのように行っているのか。(小林委員長)

(回答) 日常的な情報共有は各学校で行っている。

(学校教育課)

(回答) 新 1 年生に関して、放課後児童クラブは、学校の入学式前の 4 月 1 日から利用できて、その段階だと各学校もわからない状況にあるため、教育センターや公立の保育園とは事前の児童の性格等については連携している。また、その後の様子は指導員と学校と連携している。

(こども課)

(要望) 公立のこどもクラブで情報共有しているのと同じように、民間の放課後児童クラブも情報共有させて欲しい。(内村委員)

(意見) 健康増進課で月に 1 度育児相談を行っていると思うが、そういった実績もこの報告書に入れてほしい。身体測定なども行って非常に重要な物なので、個人的な希望にはなってしまうがお願いしたい。(奥村委員)

(回答) 本日実績を評価してもらった事業への位置づけは困難であるが、第 5 章以降で記載しているので、そちらで確認をして欲しい。(健康増進課)

	(要望) こども家庭庁の設置に合わせ、今後ますます連携が求められることになるため、市としても組織体制を検討して行って欲しい。
10 その他	①SS 研フォーラムの開催について